

12月6日（日） 祈って聞いて行動する

### ① 羊飼いの声を聞く

（マタイ 25:31～34） 人の子が、その栄光を帯びて、すべての御使いたちを伴って来るとき、人の子はその栄光の位に着きます。そして、すべての国々の民が、その御前に集められます。彼は、羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼らをより分け、羊を自分の右に、山羊を左に置きます。そうして、王は、その右にいる者たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。』

（ヨハネ 10:3, 10） 羊は羊飼いの声を聞き分けます。彼は自分の羊をその名で呼んで連れ出します。…盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためです。わたしが来たのは、羊が命を得、また豊かな命を得るためです。

（マタイ 25:35～36） 『あなたがたは、わたしが空腹であったとき、わたしに食べる物を与え、わたしが渴いていたとき、わたしに飲ませ、わたしが旅人であったとき、わたしに宿を貸し、わたしが裸のとき、わたしに着る物を与え、わたしが病気をしたとき、わたしを見舞い、わたしが牢にいたとき、わたしをたずねてくれたからです。』

### ② 神様に喜ばれる断食

（イザヤ 58:6～8） わたしの好む断食とは、これではないか。悪のきずなを解き、くびきのなわめをほどき、しいたげられた者たちを自由の身とし、すべてのくびきを砕くことではないか。飢えた者にはあなたのパンを分け与え、家のない貧しい人々を家に入れ、裸の人を見て、これに着せ、あなたの肉親の世話をすることではないか。そのとき、暁のようにあなたの光がさしいで、あなたの傷はすみやかに癒される。

（マタイ 25:38～40） 『いつ、あなたが旅をしておられるときに、泊まらせてあげ、裸なのを見て、着る物を差し上げましたか。また、いつ、私たちは、あな

たのご病気やあなたが牢におられるのを見て、おたずねしましたか。』すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』

（1ヨハネ 4:11、20） 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちが愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。…目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。

（黙示録 7:13, 14, 17） 「白い衣を着ているこの人たちは、いったい誰ですか。どこから来たのですか。」…「彼らは、大きな患難から抜け出て来た人たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。…御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。また神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。」

### ③ 行いと真実をもって愛する

（イザヤ 58:9～11） もし、あなたの中から、くびきを除き、うしろ指をさすことや、つまらないおしゃべりを除き、飢えた者に心を配り、悩む者の願いを満足させるなら、あなたの光は、やみの中に輝き上り、あなたの暗やみは、真昼のようになる。主は絶えず、あなたを導いて、焼けつく土地でも、あなたの思いを満たし、あなたの骨を強くする。あなたは、潤された園のようになり、水のかれない源のようになる。

（ヤコブ 2:15～16） もし、兄弟また姉妹のだれかが、着る物がなく、また、毎日の食べ物にもこと欠いているようなときに、あなたがたのうちだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。暖かになり、十分に食べなさい。」と言っても、もしからだに必要な物を与えないなら、何の役に立つでしょう。

（1ヨハネ 3:18） 子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することをせず、行いと真実をもって愛そうではありませんか。